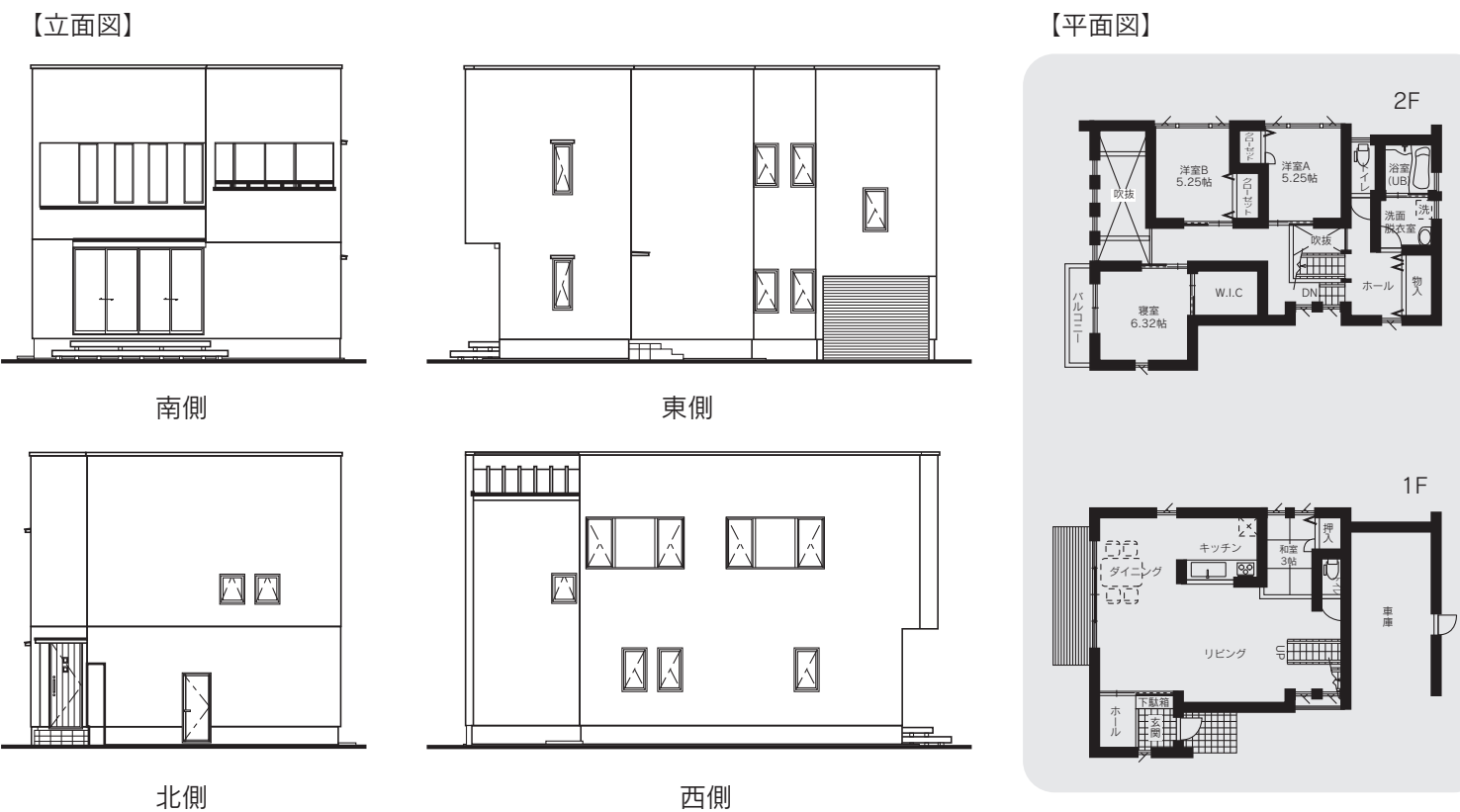


松下孝建設と近畿大学・建築学部(岩前篤教授)の共同開発。 鹿児島初の「ゼロ・エネルギー・ハウス」建設中!



建設地：鹿児島市宇宿

松下孝建設では、近畿大学 建築学部 岩前 篤教授(学部長)に監修して頂き、鹿児島型の「ゼロ・エネルギー・ハウス」の展示場を建設しています。見学ご希望の方は、下記フリーダイヤルかメールにてお申し込みください。

建築概要と断熱仕様の概案。

■建物概要

建築地	鹿児島県鹿児島市	
地域区分	V地域	
構造	木造(在来軸組構造)	
規模	敷地面積	—
	建築面積	83.32m ²
	1階床面積	74.23m ²
	2階床面積	66.26m ²
	延床面積	140.14m ²
	Q値計算用床面積	133.80m ²
気積	442.62m ³	

■断熱仕様

部位	仕様	厚さ	性能値
天井(桁上)	ミラーフォームラムダ+	150mm	0.022
	吹付け硬質ウレタンフォームA種3	0mm	0.04
外壁	室内側 ミラーフォーム・ラムダ	100mm	0.022
	外側 ミラーフォーム・ラムダ	30mm	0.022
外気に接する床	ミラーフォーム・ラムダ	150mm	0.022
土間床等	垂直 押出法ポリスチレンフォーム3種	100mm	0.028
	水平 押出法ポリスチレンフォーム3種	50mm	0.028
	水平部巾	900mm	
開口部(窓)	樹脂製+遮熱低放射複層ガラス(シャントトリプル)		1.23
(玄関ドア)	金属製高断熱構造(K1.5仕様)		1.74
換気扇	熱交換型(顕熱交換)73%	換気回数	0.5/h

熱損失係数(Q値)=1.24	基準値 2.7	等級 4 適
----------------	---------	--------

日射取得係数係数(μ値)=0.036	基準値 0.07	等級 4 適
--------------------	----------	--------

□住宅に関する資料等もフリーダイヤルにてご請求下さい。資料等をお送り致します。



ゼロ・エネルギー・ハウス

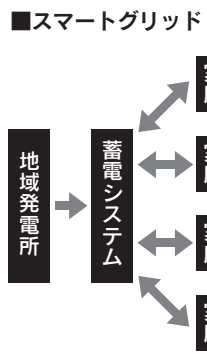
鹿児島初の「ゼロ・エネルギー・ハウス」を目指して新展示場が着工開始しました!

高性能時代を迎えた住宅システムの進化に注目してください。

(エネルギー)

「スマートグリッド」といって考えよう。

昨年3月11日の大震災以来、横文字解説が増えて参りました。新しい住宅思想を語るためには、この横文字を克服しないと前に進めないからです。今回は、ひんしゅくを覚悟で横文字の解説を行います。



EMSとは、どんなことなのか?

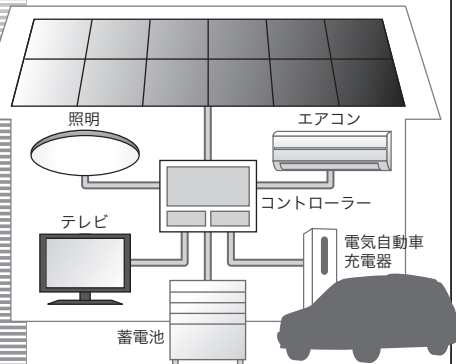
地域発電所の役割を工場などが担う場合もあります。スマートグリッド(次世代送電網)と情報通信技術(ICT)を活用

支配から、脱却できる方法として考えられており、次世代送電網(スマートグリッド)と呼ばれています。スマートグリッドの普及が意味するところは、例えば、山間部の村などが、送電線に頼らなくても、水車や風車などの自然エネルギーで発電を行い蓄電池で蓄電し、各自の屋根に取り付けた太陽光発電や近くの小川で独自に発電した水力発電の電力を地域で融通しあうという方式です。

エネルギーの消費量を見える化「管理page」

スマートグリッドは、現状の系統電力や再生可能エネルギーも取り込み、需要関係の全てを一元管理し、発電電の効率効果を図り、地域ぐるみで省エネ効果を生みます。一般家庭のスマートハウスでは、パソコンやモバイル端末から自宅のエネルギー

◆HEMSのイメージ図



使用状況や蓄電状況が確認できます。入出力電力が各種センサーやスマートタップによって情報収集装置に集められ、それを情報端末のスマートフォンなどで確認できるわけです。この様に電力の「見える化」によって、無駄な電力の使用が抑制されると共に、省エネ意識が高まるばかりか、創エネ、築エネ意識も高まります。その家庭用の中核技術がHEMS(ホーム・エネルギー・マネージメント・システム)と言うこととなります。

省エネ管理が進んでも、最も重要なのは、住宅の性能。

家庭の中に先端技術が入り、遠隔管理も自由に出来る時代になって参りますが、どんなにエネルギーを造りだしても、住宅性能が悪ければ、エネルギー消費はそれだけ増えてしまします。最も重要なのは、やはり住宅性能です。それは、政府も認識づみて、長期優良住宅など、住宅寿命を出来るだけ長く保つ、住宅

「松下建設の「ゼロ・エネ・ハウス」への取り組み。

松下孝建設では、昨年暮れから、新展示場「ゼロ・エネルギー・ハウス」の建設に取りかかっています。この展示場の目的は、南国におけるゼロ・エネルギー・ハウスであると共に、住宅を科学的にコントロールできるスマートハウスを意識した展示場です。自活エネルギー住宅を考慮し、住宅のスペックについては、近畿大学建築学部の岩前教授のご指導の元に、太陽光発電の搭載と共に、EV(電気自動車)の充電システムなども併設して、松下建設独自のスマートハウスを目指しています。目標は、「ゼロ・エネルギー・ハウス」ですが、補助冷暖房も2.5kW/h程度のエアコン一台で全館の冷暖房が可能な超省エネルギー住宅です。現在、構造建設中ですが、興味のある方は、是非、弊社までご連絡ください。高性能断熱材の三層構造、トリプルガラスサッシなど、今までの住宅建築では、見られない高性能住宅の世界にご案内申し上げます。

赤ペンボ

▼欧州発の経済危機が心配されていますが、我が国では、震災復興が本年度の景気の下支えとなるようです。しかしながらイランの核開発疑惑から石油の値上がりも心配されています。多くの原子力発電は、点検時期で次々と停止し、この夏の電力不足も懸念されています。このようなエネルギー状況で注目されているのが自活エネルギーと住宅の性能です。グッドタイミングで松下建設では、「ゼロ・エネルギー・ハウス」実験棟の建設に着手しています。数ヶ月後には、その実態が明らかになります。関心のある方は、是非、構造からご覧頂くことをお勧めします。



▼「冬来たりなば、春遠からじ」の歌のように、サザンカの赤い花が生け垣を美しく飾っています。冬特有の黄砂で空は煙っていますが、この黄砂が去れば、待ち遠しい春の到来です。▼住宅関連の予算も、明らかに縮小傾向にあり、消費税の値上げだけが、既成事実となっているようです。住宅を建てるならば、当然、消費税の値上がり前に、住宅の性能にも目を向けてください。長期的に最も経費が必要なのは、住宅が必要とする燃料費です。